



みよし剛史



塩沢みつえ

発行：日本共産党
福山市議会議員団
津之郷町津之郷 970-1
084-952-2662

クラゲ館移設で五本松公園を再整備？

過大な日除けは見直しを

移築に約5億円

屋根交換6千万円

市は大阪・関西万博で展示されたクラゲ館の膜屋根などを移築させる万博協会の事業に応募していましたが、12月1日に福山市が移築候補地に決まりました。

移築にかかる費用は約5億円で、維持には3年ごとの定期点検、10年ごとに膜屋根の交換費6千万円が必要です。

クラゲ館は子ども未来館の整備地である旧福山市体育館跡地と五本松公園内に移築されますが、12月補正予算では、具体的な配置を検討する費用として5百万円、次年度以降の設計業務委託費6千万円を確保する債務負担行為が盛り込まれました。

市は、設置検討はクラゲ館を含めた景観や利用者動線の視点から行うものと説明していますが、膜屋根の大きさは800㎡と巨大であり、五本松公園の再整備も必要となる可能性があります。

みよし剛史市議は、現在の五本松公園は多くの樹木による木陰と緑の景観が備わっており、クラゲ館の移築によって樹木の伐採が危惧されると、指摘しました。

万博パビリオンの移設は撤去によって生じる廃棄物の削減が目的の一つですが、樹木を伐採してまで移設することはその主旨にそぐいません。

また、公園の日除け施設整備が必要だとしても、あまりに過大な費用が生じるものであり、市議団は反対しました。

市が力キ被害への支援を実施

海洋環境の改善強化を

瀬戸内海を中心に昨年の9月以降に広まった力キのへい死問題で、市の調査では市内の力キ養殖においても8割が被害を受けていることが明らかになりました。

市は12月補正予算において、養殖業者が力キ種苗を購入する費用の3分の2を支援する補助や、事業継続にかかる借り入れの無利子化など、5百万円の費用を盛り込みました。また、広島県は事業者が再養殖のために力キいかなを作り直す費用の2分の1（1台当たり上限50万円）を補助します。

市内で養殖されている力キはすべて3倍体という品種で、育成期間が比較的短期間で済むため、再養殖が早期に実施できれば、次の出荷ピークに間に合わせることで、被害を最小限にとどめることが見込めます。

根本は海洋の悪化 支援・改善の両輪で

しかし、今回の大規模なへい死の要因は、温暖化による海水温の上昇のみならず、海洋環境の悪化による極度の貧酸素の問題も指摘されています。

福山市近海では、近年、ミズクラゲの大量発生や、アイゴによる藻場の食害など、海洋環境の悪化が漁獲量の減少だけでなく漁業の継続にも影響を及ぼす状況が深刻化していました。

みよし剛史市議は、再養殖された力キが再び被害を受ける可能性もあり、海洋環境の改善が迫られていることを指摘し、現在実証中の海底耕うんや、牡蠣殻の散布による海底の底質改善の取り組みの本格事業化を求めました。

商品券・賃上げ・福祉施設支援…

継続的な物価高支援を

国の総合経済対策を踏まえた物価高騰支援策にかかると補正予算が12月18日の予算特別委員会で審議され、全会一致で可決されました。総額50億円の物価高騰対策で、具体的な内訳は、子ども一人当たり2万円の給付に約15億円、市民一人当たり5千円の商品券配布（住民税非課税等の方には1万円）に約30億円、賃上げを行う中小企業の設備導入の補助に約3.4億円、保育・介護・障害福祉施設への応援金として約1.4億円です。

費用の約1割にあたる2.8億円が配布業務の委託費として計上されています。みよし市議は、物価高騰対策は継続的な支援が求められており、経費がかからず市民生活と事業者への支援となる、水道の基本料金の減免などの手法も検討するよう求めました。

中小業者の賃上げ 実効性ある支援を

中小企業への設備導入補助は労働者の賃上げを要件とするもので、時間あたり5円の改善が求められます。

5千円商品券配布 経費に2.8億円も…

高市政権の目玉政策としておこメ券の配布が推奨されました。市は迅速に支給でき、全国的な商業施設で使うことのできる商品券を採用したことを説明しましたが、